

「曾於市教育センター」って??

最近 AI の進化に代表されるように、技術や社会がびっくりするほどのスピードで変わり続けています。現代は数年先の未来がどうなるか予測も困難な「VUCA（ブーカ）の時代」と言われています。

世界が社会が急激に変わっているのに、さらにその先の未来を生きる子ども達の幸せを支えるための教育が「これまでどおり」でよいのか。今変わらなければ、曾於の子ども達の未来は守れない。その思いのもと曾於市の学校教育は未来へ向かい、かじを切ろうとしています。

VUCA（ブーカ）

- V**olatility 不安定
- U**ncertainty 不確実
- C**omplexity 複雑
- A**mbiguity 曖昧

これまでの教育の傾向

- 知識・技術を「授ける」授業
- 協調性
- ペーパーテストで測れる学力
- ルールの遵守
- 「受験」勉強
- 全員が教師・黒板に向かう一斉授業



これからの教育

- ★ ペーパーテストだけでは測りにくい学力（非認知能力）
 - 創造性 自他を客観的に捉える力
 - コンピュータ・AI を使いこなす力
 - 思考力・判断力・表現力
 - コミュニケーション能力
 - 学びに向かう力
- ★ 知識・技術を「どう使うか」の学び
- ★ 現実の社会生活とつながった学び
- ★ 教科の枠を超えた学び
- ★ 情報機器も活用した個別最適な学び
- ★ 子ども達主体の協働的な学び



参考 「次期教育振興基本計画について」（令和 5 年 3 月文科省 中央教育審議会答申）

その具体策として学校・先生・保護者がそんな「未来を生きる子ども達」に最適な教育とは何か、互いに学び合い、アップデート（更新）しつづけるための場として、曾於市教育委員会が令和 5 年度から立ち上げたのが…

曾於市教育センター

- 1 教育委員会や学校が時代に合わせて最適化し続けるための**シンクタンク**
- 2 教師が学校や立場を越えてつながり専門性を高め合う**学び合いの場**
- 3 子どもや保護者が学校や子育ての悩みなどについて話せる**相談の場**

2 月 16 日（金）、この 1 年間の研究や実践の成果を披露するとともに、さらに「その先」に何が必要かについて市内教職員などが集まり、考えを深め合う機会として、初めての「曾於市教育センター研究実践発表会」を開催しました。

第 1 回 曾於市教育センター 研究実践発表会

「曾於市教育センター 研究員」による発表

令和 5 年度の「市教育センター研究員」として研究・実践を重ねてきた教員 7 名が、年間を通して研究した内容、神奈川県先進 2 校を視察して学んだこと、本校での実践などを 3 つのグループに分かれて発表。その後参加者と意見交換を行いました。

自身の実践に「学びの共同体」の理念を取り入れた実践の具体を伺うことができたため、とても貴重な時間でした！



「曾於市教育センター アドバイザー」シンポジウム

VUCA 時代の子供たちの「今」と「未来」を幸せにする〈先生〉であるために
～ 教育センター・校内研修・個人研修のこれから ～

曾於市教育センターのシンクタンク機能の一端を担う大学の先生などの有識者「曾於市教育センター アドバイザー」が集まり、教育の未来と曾於市のこれからについて熱い議論を交わしました。

市の取り組みとしては非常に贅沢なメンバーで、近くでこのような話を伺うことができて素晴らしいと思いました。まだまだ聞いていたかったです

ご専門は違っても、教師の役割や教師集団の風土の話をテーマに議論が深まるシンポジウムを見ることができ、価値のある経験となりました

